

熊本県立荒尾支援学校進路便り NO. 45

わーく&らいふ

令和2年2月28日 進路指導部 発行

■ CONTENTS ■

【特集】身につけておきたい行動規範「キャリアアップチャレンジ5」
～保護者アンケートの結果から～

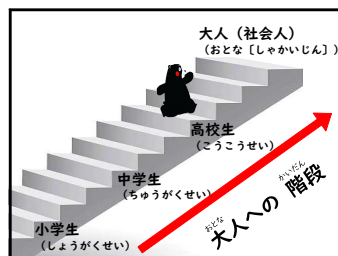
◆キャリアアップチャレンジ5とは？

高等部一般学級では、社会人になっていく準備として「作業」や「実習」をはじめとした体験学習を段階的に用意して「はたらく」生活への階段を少しずつ登っていきけるよう配慮しています。私たちはこれを「大人への階段」と表現し、生徒達にも説明しています。

このような社会（現場）での体験学習に加えて重要視しているのが、社会で求められる「行動規範」の育成です。

「行動規範」とは平たく言うと「（当然）すべきこと。」「できて当たり前のこと。」で、「ルール」や「マナー」もこれに当たります。

本校では特に生徒に身につけてほしい5つの「行動規範」を「キャリアアップチャレンジ5」と名づけて指導しています。



キャリアアップ チャレンジ5

- 1 気持ちいい あいさつ へんじ
- 2 きちんとした 身なり
- 3 ていねいな ことばづかい
- 4 時間・約束を まもろう
- 5 そうじ・かたづけ

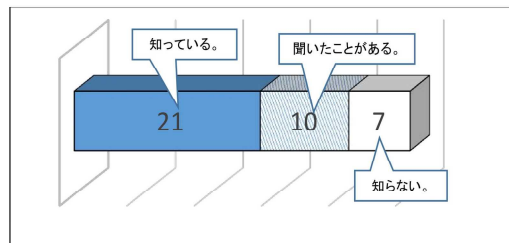
◆「行動規範」の習得・習慣化はご家族との連携あってこそ。

行動規範の習得は、小さいときからの周囲（家族・担任・放デイ支援員など）の対応や関わり方がカギになります。年度末に当たり、各ご家庭にお子さんの「キャリアアップチャレンジ5」に関する評価と、家庭での取組のようすをお聞きしました。結果をご紹介します。

Q1 キャリアアップチャレンジ5を知っていますか？

知っている	21
聞いたことがある	10
知らない	7

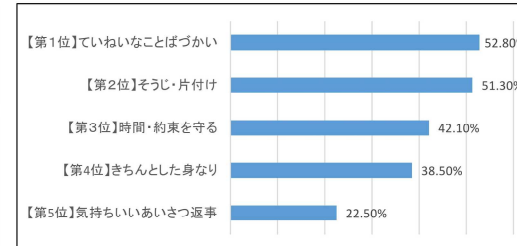
★「知っている。」と答えたのは55.3%で、昨年度より向上しており、保護者の皆様への浸透がうかがえます。(8.4ポイントアップ)
★一方「知らない。」と答えたのは18.4%でした。更に多くの方に知って頂きたいもので



Q2 保護者評価「どれぐらいできていますか？」

【第1位】ていねいなことばづかい	52.80%
【第2位】そうじ・片付け	51.30%
【第3位】時間・約束を守る	42.10%
【第4位】きちんとした身なり	38.50%
【第5位】気持ちいいあいさつ返事	22.50%

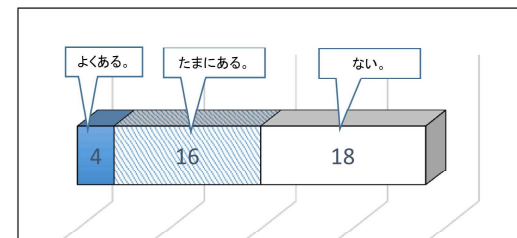
各項目ごとのお子さんの行動について、親の目で評価して頂きました。保護者が「できている」と評価する割合は、表のとおりです。
★この結果から、「あいさつ・返事」「身なりを整える」「時間・約束を守る」行動は、相対的に低く、じっくりていねいな指導が必要であると言えます。



Q3 キャリアアップチャレンジ5について ご家庭で話題にしていますか？

よくある	4
たまにある	16
ない	18

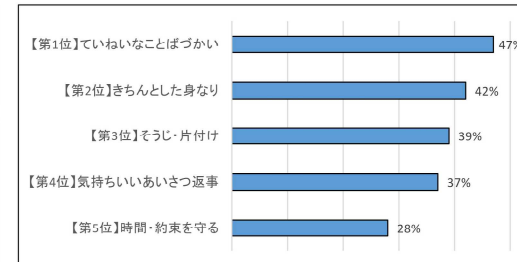
★半数近くのご家庭で「話題にしていない。」との結果でした。得意なことを増やすことが、将来の働く生活につながると考えられます。
★お子様の「よかとこ伸ばし」をするためにも、ぜひ話題にも取り上げてみてください。



Q4 この一年でよくなった行動は？

【第1位】ていねいなことばづかい	47%
【第2位】きちんとした身なり	42%
【第3位】そうじ・片付け	39%
【第4位】気持ちいいあいさつ返事	37%
【第5位】時間・約束を守る	28%

★お子さんの「よくなった」部分に注目し、子どもの成長を感じることは、親としても教師としてもうれしいことです。
★しかし一方、「時間・約束を守る」行動はダントツに低く、ルールを守ることが社会では重要な反面、成果の出にくい項目だとわかります。小さいうちから、ルールはあいまいにせず「家庭のルール」としてはつきりさせた上でじっくり育てる必要があると言えます。



編集後記

社会で求められる「当たり前」を身につけるには、日頃から私たち大人がいくつかの「心がけ」をもつことが大切だと言われています。

まず「周囲の大人が率先してやってみせる。」その上で「たくさん体験させる。」「強制はしない。」「うまくできなくても叱らない。(責めない)」そして、できたときの「ほめ言葉」、うまくいかなかったときの「いたわりの言葉」など、お子さんをポジティブにさせる温かな言葉のシャワーがあれば、互いに愛情や信頼関係が深まりますね。(高等部一般 谷口)

